

笠原棚田米新聞

2025年8月号

残暑お見舞い申し上げます。今年は梅雨明けが早かったうえ、7月は雨が少なく、厳しい暑さが続いていますね。田んぼもカラカラで水不足が心配でしたが、8/4に久しぶりの雨が振り、農家の皆さんにはほつとしていることと思います。みなさんもどうぞ体調に気をつけてお過ごしください。

今月のお米：小川誠二郎さん「恵つくし」鰐八地区（土取）

田んぼは今のところ順調ですが、作業は遅れ気味です。この春はお茶の芽吹きが遅く、一番茶の収穫が例年より10日ほど遅れたので、田植えも後ろ倒しになり、二番茶の収穫まで手が回りませんでした。今はお茶の剪定作業に追われていますが、早く終えて田んぼの草取りに取り掛かりたいところです。

田植えは6月中旬から7月初めまでかかりました。終盤、あと1.5反分というところで田植え機が故障し、残りは小さな歩行型の田植え機でなんとか植えました。20年以上使ってきました田植え機なので、修理できればいいのですが、買い換える必要かもしれません。

雨が少なく水も心配です。うちの田んぼは山からの湧き水を使っているので、どうにかもっていますが、お盆頃には厳しくなるかもしれません。夕立が待ち遠しいです。

今年は笠原棚田米プロジェクト用の特別栽培米の田んぼを、1.6反から5反に増やしました。全体で1.2町分の棚田を管理しており、一人での作業は大変です。この時期は毎日、空調服のバッテリーを3台分持ってきて作業しています。お米を楽しみに待っている方がたくさんいらっしゃると思うので、暑さに気をつけながら、無事においしいお米ができるようがんばります。（小川誠二郎）

※1反 = 10a (アール) = 1,000 平米 ※1町 = 10 反 = 100 a = 10,000 平米

※農薬化学肥料不使用をお申込みの方には、白米：大橋幸太郎さんの「縁結び」、七分・五分・玄米：笠原棚田米プロジェクト無農薬栽培実験田の「ヒノヒカリ」をお届けしています。

◆事務局より

○次回のお届け 次回(9/3発送)はヒノヒカリと恵つくしをブレンドしてお届け予定です。追加注文や精米歩合の変更、配達先変更をご希望の方は、**発送前月20日まで**にお知らせください。

山村塾の日常を
発信中です！



山村塾
インスタグラム



こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E mail : info@sansonjuku.com

山村塾 HP <https://sansonjuku.com>

【現在のサポーター数】7月 114名→114名/146.75俵（個人：111、企業/団体：3）

【守られている棚田面積】24,458 m² (146.75俵⇒244.58a 収量 6俵/10aとして)

◆美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、

お米を食べて応援してくださるサポーターを募集しています。

◆山村塾の活動は皆様からのご寄附で支えられています。



山村塾ホームページ

棚田米新聞も掲載しています